

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年7月16日（火）
- 2 確認箇所
既設多核種除去設備（図1）
- 3 確認項目
既設多核種除去設備の現況

4 確認結果の概要

「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生したことに加え、本年度4月末には、「所内電源A系停止と負傷者発生事案」も生じたことから、東京電力は、5月から発電所内において、作業リスクを評価するため「作業点検」を実施し、6月7日にその完了が示された。

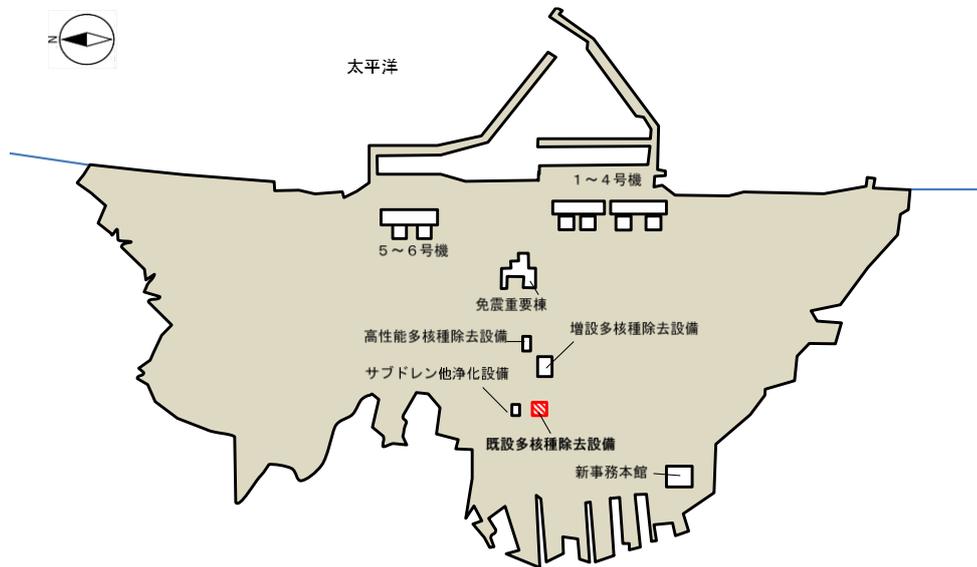
そのため県では、これまでに強化された安全対策の実施状況及び汚染水処理設備の運転状況や設備機器のメンテナンス状況を適宜確認してきている。

本日は、当日、既設多核種除去設備（以下「既設ALPS」という。）で実施していた、C系統における新たな床面足場設置工事、及びB系統のクロスフローフィルタ※（以下「CFF」という。）設備内の照明設置工事に係る作業を確認した。

（写真1～3）

- ・ このうち、CFF設備内の照明設置工事に携わっていた作業員は、カバーオールの上に汚染防止用アノラック（防水性のカッパ）を装着し、作業に従事していることを確認。
- ・ 作業員は、手順書に記載されている手順内容を復唱し、また、指差確認を行いながら作業しており、作業点検に基づき適正に工事が行われていることを確認した。
- ・ なお、上記作業状況の他、建屋内を確認した範囲では、配管からの漏えいや水たまり等の異常は認められなかった。

※ ろ過膜の膜面に対して平行な液体の流れをつくることで、膜供給水中の懸濁物質が膜面に堆積する現象を抑制しながらろ過を行う方式をクロスフローろ過といい、そのろ過に使用するフィルターをクロスフローフィルタという。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
既設ALPS建屋内の状況①
C系統における新たな床面足場の
設置工事



(写真1-2)
既設ALPS建屋内の状況②
床面足場設置工事に併せて安全通路
の整備も実施中

単管パイプの
搬出作業



作業監督者からの指示

(写真 2 - 1)

C 系統における新たな床面足場の設置工事での作業確認状況①



監督者からの指示を受け、床面での設置作業を実施

(写真 2 - 2)

C 系統における新たな床面足場の設置工事での作業確認状況②
床面に通路を設置中



(写真 3 - 1)

B 系統 C F F 設備内への照明等設置工事に係る作業確認状況①

C F F 設備内が暗いため新たな照明を設置



(写真 3 - 2)

B 系統 C F F 設備内への照明等設置工事に係る作業確認状況②
設備内に入る作業員はカバーオールの上に汚染防止用アノラック（防水性のカップ）を装着

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。